

発行 子ども学習支援グループ須賀の寺子屋

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるこの時期、あっという間にもう2月。

編集計画では1月中に発行する予定でしたが、1か月遅れてしまいました。申し訳ございません。(F. O)



「第5回平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞」受賞



この度、須賀の寺子屋食堂活動が「第5回平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞」をいただきました。

2月13日平塚市役所で行われた贈呈式に大野が出席しました。



市内11活動13団体が受賞しました

本賞は第1回目に学習支援活動で受賞して以来2回目になります。

今回の受賞は、保護者ボランティアの協力で毎月定期的なフードパントリー開催や軽食提供活動が認められました。

食支援活動が行えるのも、食材をご提供いただける企業や団体等多くの皆様のご協力があったのことに感謝を申し上げます。(大野)

食支援活動の報告

2023年9月から2024年1月まで、こども家庭庁「ひとり親家庭等のこどもの食事等の支援事業」を受けて、総額200万円相当のお米と食料品を200パック、毎月1回子育て家庭48世帯に配付しました。

諸物価高騰の影響で買い控えている食料品を大量にいただけた保護者は、「家計が助かる」「お米は絶対必要なのでありがたい」「お菓子やジュースがもらえて嬉しい」と、嬉しい感想をいただきました。

また、食料品の一部は高浜高校定時制生徒にも配付し、生徒がとっても喜んで受取っていました。「兄弟が多くて母親だけなので、本当にありがたいです。今後よろしくお願いします。」と言って来た生徒もいました。

多くの子どもや家族に笑顔を届ける事業ができましたことをご報告いたします。なお、こども家庭庁令和5年度補正予算で同事業を2～3月に、お米2kgを480袋配付する予定です。



支援員スキルアップ研修会②・懇親会報告

12月9日平塚市漁業協同組合2階ホールで、支援員スキルアップ研修会②を開催しました。

スクールカウンセラーの西田紗也子さんを講師に「小中学生の心と身体」について学びました。受講者は会員20名、一般2名。



今まで接点の無かったスクールカウンセラーの役割を教えていただき、中学生の特徴や様子を詳しく知ることができました。「こどもに対しては俳優を装い、絶対に話を否定しないことが大切」と話す西田さん。

スクールカウンセラーが全ての学校に常駐していることが望まれます。(大野)

研修会終了後、同所で懇親会が開催されました。



コロナ禍のため中止されていた支援員懇親会が4年振りに開かれました。

当日は、顧問の小泉様、深谷様、監査の平出校長に15名の支援員の参加で、仕出し弁当と若干のお酒もあり和やかな会となりました。

特に、深谷顧問の太洋中校長在任中のエピソードや平出校長の生徒の様子、大野代表の須賀の寺子屋立ち上げの経緯等、普段聞けない話は興味深かったです。

また、各支援員の自己紹介では日常の支援活動の際には知れない話が出て、お互いの距離感が一気に縮んだ感じがしました。

今後も機会を見てこの種の行事を計画してほしいと思いました。今回都合で参加できなかった人にもお勧めです。(中村輝夫)

リーフレットデザイナー紹介

広報ひらつか2024年2月第3金曜日号で表紙を飾ったのは、イラストレーターで絵本作家の西野沙織さん(代官町在住)。本会リーフレットのデザインを2017年度から毎年担当していただいています。当時、ご家族が学習支援員をしてくださっていたご縁で、「私ができることで寺子屋に協力します」と可愛いイラストを描いてくださっています。西野さんの絵は、こどもへの優しく温かな眼差しを感じますね。



卒業生にインタビュー

今号は、高校2年生に回答をいただきました。

Q. 寺子屋に通うきっかけは何でしたか？

友達に誘われたからです。

Q. 寺子屋で楽しかったこと、思い出に残っていることは何ですか？

支援員さんと作文と一緒に考えながら書いている時、楽しく話せたことです。

Q. あなたにとって支援員さんの存在は？

学校の先生みたいな存在でした。

Q. 寺子屋での学習を通して、自分の中で成長できたと思うところや強みになったことはありますか？

授業で分からなかったところが分かるようになって、テストの点が上がったことです。

Q. 今の生活について教えてください。

寺子屋で教えてもらったことが高校生になって、自分のためになっています。

Q. 「須賀の寺子屋」はあなたにとって何でしたか？

好きな教科は成績が上がるようになり、苦手な教科は少しずつ克服出来た場所でした。(以上)

高校入学式での生徒代表の言葉を担当して以来、成績優秀生として生徒会でも実習先でも全力で高校生活を送っている姿に、寺子屋卒業生の誇りを感じます。(大野)

学習支援のヒント

小学生担当 伊藤美千枝さんからのヒント

小学生学習教室では、まずその日の目標を書いてもらいます。宿題をすることが多いのですが、なかなか学習に取り組めないことも多いです。子どもたちの話をしっかり聞き、信頼関係を作っていく事は、とても大切な事だと思っています。

宿題もゆっくり観察しながら、一緒にやっていきます。

宿題ができない時や早く終わってしまった時は、興味のありそうな事を見つけてやっていきます。

なかなか難しいですが、担当の子どもたちとは信頼関係もでき、楽しく学習ができています。

中学生担当 仲里 恵さんからのヒント

中学3年間で学習する内容は決まっているので、繰り返し学習し弱い箇所が減れば、試験の成績が上がり安定します。

①公式や基本的問題を1冊に纏めた薄い参考書が繰り返し学習に向いています。(今年9月に改訂版が出た「高校入試の最重要問題 数学 改訂版 学研」や「中学校3年間の数学が1冊でしっかりわかる本」かんき出版等)

②生徒には試験前、短時間に見直し出来る資料を準備するよう話しています。(教科書の間違いやすい箇所に印をつけ、過去の試験でよく間違う問題をコピーし教科書に張り付け見直し同じ間違いをしないようにする。)

③教える時は、計算式は飛ばさず小さなステップに分け説明しています。数式が苦手な生徒もいるためです。

学習教室の状況

各学習教室の状況をお知らせします。

小学生学習教室

○ 開催日程 毎月第2,4木曜日

16:30~17:30

○ 会場 平塚市立須賀公民館

○ 本年度33名の生徒が登録

し、現在31名が学習しています。

個別学習を基本にしていましたが、定員10名の3倍を上回る参加生徒の増加により、今年度は個別学習が必要な生徒と集団でも学習できる生徒に分けて、支援員が対応してきました。しかし、支援員の相次ぐ退会により現在は10名の支援員で対応していますが、この方法を維持することができず、学年別に部屋を分けて全員集団学習支援に切換えざる負えない状況で困っています。

中学生学習教室

○ 開催日程 毎月4回木曜日

18:40~20:30

○ 会場 平塚市立太洋中学校体育館会議室

○ 本年度25名が登録し、不登校2名を含む現在23名が学習しています。

個々の生徒の困り感に合わせて個別学習支援を基本としていますが、支援員不足により生徒2人対1支援員が4組います。3年生の入試後から新学期迄の間は余裕がありますが、現在の状況では複数担当をOにはできそうにありません。また、英語担当支援員の減少で担当できる教科の偏りもあり困っています。

高校生学習教室

○ 開催日程 毎月4回木曜日

18:40~20:30

○ 会場 平塚市立太洋中学校体育館会議室

○ 本年度高校生は4名が登録しています。

ボランティアの空き時間を使ってコツコツと学習する姿が見られます。高校生の学習は、近年学校での補修も手厚くなったため、自主学習をすることで補える生徒が多いようです。特に、寺子屋卒業生は中学生時代に学習の仕方や習慣が身に付いているようで、自らの力でよく学習ができ、高校での成績優良者も多いようです。但し、寺子屋卒業生以外の高校生が学習教室に参加することが未だありません。

このような学習教室の状況を、支援員さんはどのように感じますか？ 代表や運営委員と一緒に、今後の活動を考えてみてください。(大野)

須賀の寺子屋の活動の情報は以下でも紹介しています。

ホームページ <https://sukanoterakoya.com>

Facebook <https://m.facebook.com/people/>

本誌の掲載内容や写真データを無断で転写したり、SNS等へ投稿したりすることは固く禁じます。

